

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：シルバーコーティング剤
製品コード：--
会社名：福田交易株式会社
住所：東京都中央区明石町 11-2
担当部門：--
電話番号：+81-03-5565-6817
緊急連絡電話番号：+81-03-5565-6817
FAX 番号：--
メールアドレス：--
推奨用途：コーティング。
使用上の制限：推奨用途以外への使用は禁止する。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類：

物理化学的危険性	引火性液体-区分 3
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性-区分 2B 皮膚感作性-区分 1 生殖毒性-区分 1B 特定標的臓器毒性，単回ばく露-区分 1（呼吸器系）、区分 3（気道刺激性、麻酔作用） 特定標的臓器毒性，反復ばく露-区分 1（眼、呼吸器系）
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）-区分 3

GHS ラベル要素：

絵表示	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	H226：引火性液体及び蒸気。 H317：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H320：眼刺激。 H335：呼吸器への刺激のおそれ。 H336：眠気又はめまいのおそれ。 H360：生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。 H370：臓器の障害（呼吸器系）。 H372：長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害（眼、呼吸器系）。 H402：水生生物に有害。
注意書き	【安全対策】 P201：使用前に取扱説明書を入手すること。 P202：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P210：熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

	<p>P233：容器を密閉しておくこと。</p> <p>P240：容器を接地しアースをとること。</p> <p>P241：防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器】を使用すること。</p> <p>P242：火花を発生させない工具を使用すること。</p> <p>P243：静電気放電に対する措置を講ずること。</p> <p>P260：ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。</p> <p>P264：取り扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>P270：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>P271：屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。</p> <p>P272：汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p> <p>P273：環境への放出を避けること。</p> <p>P280：保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。</p>
【応急処置】	<p>P303+P361+P353：皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。</p> <p>P370+P378：火災の場合：消火するために水噴霧、アルコール耐性フォーム、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。</p> <p>P302+P352：皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。</p> <p>P321：具体的な治療（ラベルに記載された具体的な事故措置を参照するか、病院で診断／手当を受けること）。</p> <p>P333+P313：皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。</p> <p>P362+P364：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。</p> <p>P305+P351+P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>P337+P313：眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。</p> <p>P304+P340：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>P312：気分が悪いときは医師に連絡すること。</p> <p>P308+P313：ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。</p> <p>P308+P311：ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。</p> <p>P314：気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。</p>
【保 管】	<p>P403+P235：換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。</p> <p>P403+P233：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。</p> <p>P405：施錠して保管すること。</p>
【廃 棄】	<p>P501：内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
-------------	-----

成分	含有量(%)	分子式	官報公示整理番号 (化審法安衛法)	CAS No.	化学物質管理促進法 (PRTR)政令番号	労働安全衛生法 (通知)対象物 政令番号
銀	35-65	Ag	対象外	7440-22-4	第一種 1-105	別表第9の137
1-メトキシ-2-プロパノ	10-30	C ₆ H ₁₂ O ₃	2-3144	108-65-6	対象外	対象外

ールアセタート			5-1506 5-1508 5-1518			
酢酸ブチル	10-30	C ₆ H ₁₂ O ₂	2-731 2-(6)-226	123-86-4	対象外	別表第9の181
アクリル樹脂	5-10	--	--	--	--	--

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識不明者にはいかなる食べ物も提供しない。吐かせないこと。気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	急性症状：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。眼刺激。呼吸器への刺激のおそれ。眠気又はめまいのおそれ。臓器の障害（呼吸器系）。 遅発性症状：生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（眼、呼吸器系）。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	適切な保護具（保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面）を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	具体的な症状により処理すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、アルコール耐性フォーム、粉末消火剤、二酸化炭素。
使ってはならない消火剤	注水は原則禁止。
火災時の特有の危険有害性	引火性液体及び蒸気。 蒸気と空気が混和物を形成することがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 蒸気が拡散し、着火源に接触する場合、再燃を引き起こす恐れがある。 燃焼により、炭素酸化物、窒素酸化物、メタクリル酸エチル、アクリル酸メチルなどの有害ガスが発生する。
特有の消火方法	ガスの供給を断つ。噴霧ノズル等で散水するなどにより周辺を冷却し延焼防止を図る。 風上から水を噴霧して容器を冷やしながらか周囲の消火を行う。 周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移動する。 関係者以外は安全な場所に避難させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。消火活動を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し、酸素欠乏および有害ガスから身を守る。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。危険でなければ漏出源を遮断し、漏出物に
-----------------------	--

	接触しない。
環境に対する注意事項	回収された廃棄物を排水溝、下水溝と河川など流水域に流入しないよう注意する。地方自治体と関係国の法律に従う。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出物を砂やその他の非可燃物で拭き取り、漏出/流出を防止する。 拭き取り或いは乾燥する不活性物質に吸着させてから、適切な空容器に回収する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 清水で漏出物に汚染された地面を綺麗に洗浄する。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
注意事項	
安全取扱い注意事項	<p>使用前に取扱説明書を入手すること。</p> <p>全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</p> <p>熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。</p> <p>容器を密閉しておくこと。</p> <p>容器を接地しアースをとること。</p> <p>防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器】を使用すること。</p> <p>火花を発生させない工具を使用すること。</p> <p>静電気放電に対する措置を講ずること。</p> <p>ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。</p> <p>取り扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。</p> <p>汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p> <p>環境への放出を避けること。</p> <p>保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。</p>
保管	
適切な保管条件	涼しい所/換気の良い場所/乾燥した場所で保管すること。熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。
混触危険物質	酸化剤、酸、カリウム tert-ブトキシド、還元剤。
適切な技術的対策	倒壊や落下を防ぐために、過剰に容器を積み重ねないでください。
容器包装材料	プラスチック。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度:

成分名	ACGIH TLV-TWA	日本産業衛生学会の許容濃度
銀 (CAS : 7440-22-4)	金属の粉塵やヒューム : 0.1 mg/m ³ 銀および銀化合物 (Ag として) : 0.01 mg/m ³	銀および銀化合物 (Ag として) : 0.01 mg/m ³
酢酸ブチル (CAS : 123-86-4)	50 ppm (238 mg/m ³) ST : 150 ppm (712 mg/m ³)	100 ppm (475 mg/m ³)

設備対策	装置の密閉化又は防爆タイプの局所排気装置を設置することが望ましい。 この物質を貯蔵ないし取り扱う職場には洗眼機と安全シャワーを設置することが望ましい。
保護具	

呼吸器の保護具	暴露制限を超えたり、刺激やその他の症状が現れたりする場合は、適切な呼吸用保護具を着用することをお勧めする（送気マスク、防毒マスク）。
手の保護具	不浸透性、かつ丈夫な保護手袋。 推奨する素材の種類：耐薬品手袋。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。 撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。 帯電防止、不浸透性の保護服を推奨する。
衛生対策	休憩の前に、作業終了後は、手洗いを十分に行う。 加工による蒸気を吸入することを避ける。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	ペースト状の液体	
色	灰色	
臭い	マイルドなフルーティーの香り	
融点／凝固点	126.1-140°C (259-284°F)	
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし	
可燃性	引火性液体及び蒸気	
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	上限	10
	下限	1.5
引火点	24.4°C (76°F)	
蒸発速度	<1 (酢酸ブチル=1.0)	
自然発火点	データなし	
分解温度	データなし	
pH	データなし	
動粘性率	データなし	
溶解度	製品の10%以上の物質は可溶	
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし	
蒸気圧	6 mmHg (torr) (20°C (68°F))	
蒸気密度	>1 (空気=1)	
密度	データなし	
相対密度	1.8-2 (水=1)	
相対ガス密度	データなし	
粒子特性	該当しない	
その他のデータ	揮発物：30%-40%	

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用条件の下で知られている危険な反応はない。
化学的安定性	通常の手扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	通常の使用条件の下で知られている危険な反応はない。
避けるべき条件	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。
混触危険物質	酸化剤、酸、カリウム tert-ブトキシド、還元剤。
危険有害な分解生成物	燃焼により、炭素酸化物、窒素酸化物、メタクリル酸エチル、アクリル酸メチルなどの有害ガスが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性：	
LD ₅₀ /LC ₅₀ 半数致死量	
急性毒性（経口）	銀（CAS：7440-22-4）： 急性毒性（経口）LD ₅₀ >5000 mg/kg（ラット）（NITE-CHRIP） 1-メトキシ-2-プロパノールアセタート（CAS：108-65-6）： 急性毒性（経口）LD ₅₀ >10000 mg/kg（ラット）（NITE-CHRIP） 酢酸ブチル（CAS：123-86-4）： 急性毒性（経口）LD ₅₀ >3200 mg/kg（ラット）（NITE-CHRIP） 製品分類：区分に該当しない
急性毒性（経皮）	銀（CAS：7440-22-4）： 急性毒性（経皮）LD ₅₀ >2000 mg/kg（ラット）（NITE-CHRIP） 1-メトキシ-2-プロパノールアセタート（CAS：108-65-6）： 急性毒性（経皮）LD ₅₀ >5000 mg/kg（ウサギ）（NITE-CHRIP） 酢酸ブチル（CAS：123-86-4）： 急性毒性（経皮）LD ₅₀ >5000 mg/kg（ウサギ）（NITE-CHRIP） 製品分類：区分に該当しない
急性毒性（吸入）	1-メトキシ-2-プロパノールアセタート（CAS：108-65-6）： 急性毒性（吸入：蒸気）LC ₅₀ >19.82 mg/L（ラット）（NITE-CHRIP） 酢酸ブチル（CAS：123-86-4）： 急性毒性（吸入：蒸気）LC ₅₀ >32 mg/L（ラット）（NITE-CHRIP） 製品分類：区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	銀（CAS：7440-22-4）：区分 2B（NITE-CHRIP） 1-メトキシ-2-プロパノールアセタート（CAS：108-65-6）：区分 2B（NITE-CHRIP） 酢酸ブチル（CAS：123-86-4）：区分 2B（NITE-CHRIP） 製品分類：区分 2B
呼吸器感作性	分類できない。
皮膚感作性	銀（CAS：7440-22-4）：区分 1（NITE-CHRIP） 製品分類：区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない。
発がん性	分類できない。
生殖毒性	銀（CAS：7440-22-4）：区分 1B（NITE-CHRIP） 製品分類：区分 1B
特定標的臓器毒性，単回ばく露	銀（CAS：7440-22-4）：区分 1（呼吸器系）（NITE-CHRIP） 1-メトキシ-2-プロパノールアセタート（CAS：108-65-6）：区分 3（気道刺激性、麻酔作用）（NITE-CHRIP） 酢酸ブチル（CAS：123-86-4）：区分 3（気道刺激性、麻酔作用）（NITE-CHRIP） 製品分類：区分 1（呼吸器系）、区分 3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器毒性，反復ばく露	銀（CAS：7440-22-4）：区分 1（眼、呼吸器系）（NITE-CHRIP） 製品分類：区分 1（眼、呼吸器系）
誤えん有害性	分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	1-メトキシ-2-プロパノールアセタート（CAS：108-65-6）： 水生環境有害性 短期（急性）：
------	--

	<p>藻類 (Pseudokirchn eriella subcapitata) での 72h-$ErC_{50} > 1000$mg/L、甲殻類 (オオミジンコ) での 48h-$EC_{50} = 370$mg/L、魚類 (メダカ) での 96h-$LC_{50} > 100$mg/L (3 試験とも環境省生態影響試験, 1997) であることから、区分外とした。(NITE-CHRIP)</p> <p>水生環境有害性 長期 (慢性) : 難水溶性でなく (水溶解度 > 100g/L (EU-RAR, 2006))、急性分類が区分外であることから、区分外とした。(NITE-CHRIP)</p> <p>酢酸ブチル (CAS : 123-86-4) : 水生環境有害性 短期 (急性) : 魚類 (ファットヘッドミノー) の 96 時間 $LC_{50} = 18$ mg/L である (CICAD 64, 2005、SIDS, 2009) ことから、区分 3 とした。(NITE-CHRIP)</p> <p>水生環境有害性 長期 (慢性) : 慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり (BOD による分解度 : 98% (SIDS, 2009)、藻類 (セネデスマス) の 72 時間 $EC_{10} = 296$ mg/L (CICAD 64, 2005) であることから、区分外となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、魚類 (ファットヘッドミノー) の 96 時間 $LC_{50} = 18$ mg/L である (CICAD 64, 2005、SIDS, 2009) が、急速分解性があり (BOD による分解度 : 98% (SIDS, 2009))、生物蓄積性が低いと推定される ($\log K_{ow} = 1.78$ (PHYSPROP Database, 2009)) ことから、区分外となる。 以上の結果から、区分外とした。(NITE-CHRIP)</p> <p>製品分類 : 水生環境有害性 短期 (急性) - 区分 3</p>
残留性・分解性	情報なし。
生態蓄積性	情報なし。
土壌中の移動性	情報なし。
オゾン層への有害性	情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。</p> <p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>認定を受けている産業廃棄物処理業者に委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。</p>
汚染容器及び包装	<p>容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p> <p>空の容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	1263
品名 (国連輸送名)	塗料関連物質 PAINT RELATED MATERIAL
国連分類	3
副次危険	該当しない
容器等級	III

絵表示	
海洋汚染物質（該当・非該当）	非該当
MARPOL73/78 附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない
国内規制	
海上規制情報	船舶安全法に定めるところに従う。
航空規制情報	航空法に定めるところ及び、ICAOの規定に従う。
陸上規制情報	道路法、消防法、毒物及び劇物取締法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	128
特別の安全対策	輸送前に包装に破損が無いか、密封できているかを検査する；輸送過程において、包装に破損が無く、貨物の落下防止措置を確実に行う；消防用と漏出処理用の関連設備を配備する；混触危険物質との共同輸送を禁止する。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（ラベル表示・SDS 交付義務対象物質）： 銀（CAS：7440-22-4）：別表第9の137。 酢酸ブチル（CAS：123-86-4）：別表第9の181。 有機溶剤等（有機則）： 酢酸ブチル（CAS：123-86-4）：第二種有機溶剤等、政令番号-19。 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質：銀（CAS：7440-22-4）：皮膚刺激性有害物質（適用日：令和6年4月1日）。 作業環境評価基準で定める管理濃度： 酢酸ブチル（CAS：123-86-4）：管理濃度：150 ppm。
毒物及び劇物取締法	該当しない。
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	特定第一種化学物質：該当しない。 第一種指定化学物質： 銀（CAS：7440-22-4）： 第一種、1-82（2023年3月31日まで）。 第一種、1-105（2023年4月1日から）。 第二種指定化学物質：該当しない。
消防法	第四類 引火性液体 第二石油類 危険等級 III
水質汚濁防止法	該当しない。
土壤汚染対策法	該当しない。
大気汚染防止法	銀（CAS：7440-22-4）：有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質、中環審第9次答申（別表1）の45。 1-メトキシ-2-プロパノールアセタート（CAS：108-65-6）：揮発性有機化合物（VOC）、法第2条第4項。 酢酸ブチル（CAS：123-86-4）：揮発性有機化合物（VOC）、法第2条第4項。
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律	該当しない。
食品衛生法	規格基準告示別表第1第1表（3）基ポリマー（微量モノマー）：

	酢酸ブチル (CAS : 123-86-4) : 番号 名称、5. 非芳香族有機酸類 ; (38) 酢酸ブチル。 規格基準告示別表第1第2表 添加剤 : 銀 (CAS : 7440-22-4) : 番号- 509。 1-メトキシ-2-プロパノールアセタート (CAS : 108-65-6) : 番号- 607。 酢酸ブチル (CAS : 123-86-4) : 番号- 601。			
国際法規				
EC No. 1272/2008 分類	成分	危害分類とコード	危害コード	
	1-メトキシ-2-プロパノールアセタート (CAS : 108-65-6)	Flam. Liq. 3	H226	
	酢酸ブチル (CAS : 123-86-4)	Flam. Liq. 3 STOT SE 3	H226 H336	
REACH 規則 SVHC (高懸念物質) リスト	該当しない。			
米国有害物質規制法 (TSCA 在庫品目)	成分	CAS No.	TSCA 在庫品目	
	銀	7440-22-4	記入	
	1-メトキシ-2-プロパノールアセタート	108-65-6	記入	
	酢酸ブチル	123-86-4	記入	
米国水質浄化法	成分	有害物質	優先汚染物質	有毒物質
	銀 (CAS : 7440-22-4)	記入	記入	記入
	酢酸ブチル (CAS : 123-86-4)	記入	含まれていない	含まれていない
発がん性関連法令	該当しない。			

16. その他の情報

参考情報	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国連 GHS 文書改訂 6 版 2. JIS Z 7252 : 2019 3. JIS Z 7253 : 2019 4. 労働安全衛生法 5. 毒物及び劇物取締法 6. 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 7. 消防法 8. 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR 法) 9. 引用 SDS : 2018/12/14 日付英文 Safety Data Sheet を基に日本語版を作成
当該安全データシートの最新修訂日付	2024-4-12
SDS 版	改訂 0
責任免除の説明	<p>以上の情報は参考するものとして、その信憑性が保証できません。当社はユーザーの使用方法及びその結果について何の責任を負いません。ユーザー自身に該当製品の正しい使用方法、またはある目的による生産方法を決定していただきます。上記の注意事項を守れば製品の操作及び使用時に発生するおそれのある財産と人身安全への危害を回避できます。</p>

*****終わり*****